

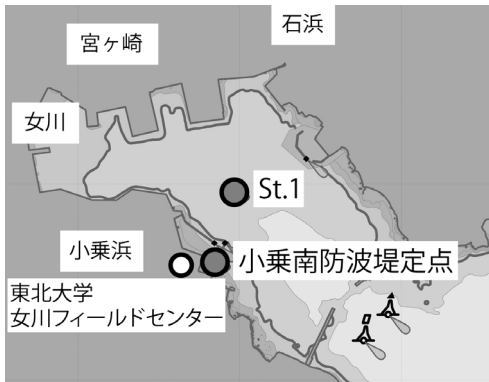
## 週刊 女川湾海況速報 (No.13)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

10月9日から12日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

## 観測点



## 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して、水温は下降傾向。鉛直的にはほぼ一様。海面冷却とともになう鉛直混合の影響と推定。塩分も鉛直的にはほぼ一様。経時的には11日に表層(0m)近くで下降。降雨の影響と推定。

水深 [m]	10月9日 (火)	10月10日 (水)	10月11日 (木)	10月12日 (金)
0	22.2 (33.2)	22.1 (33.3)	21.5 (33.0)	22.0 (33.5)
5	22.5 (33.6)	22.0 (33.3)	21.9 (33.3)	22.0 (33.5)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル(千分率)。1パーミル = 1PSU (実用塩分単位)。

②濁度：経時的には表層で上昇傾向。底層(5m)近くでは9日と12日に高い値。

水深 [m]	10月9日 (火)	10月10日 (水)	10月11日 (木)	10月12日 (金)
0	0.9	1.0	1.2	1.4
5	4.6	1.4	1.8	2.3

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週と比較して、下降傾向。鉛直的には水深とともに下降傾向。経時的には11日まで全層で上昇。5~6mg/l 台を維持。

水深 [m]	10月9日 (火)	10月10日 (水)	10月11日 (木)	10月12日 (金)
0	6.2	6.5	6.8	6.4
5	5.5	6.4	6.6	6.2

単位は mg/l。水産用水基準(水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値)：4.3mg/l 以上。

## St.1 の結果

水温、塩分はともに水深15mまで水深とともに下降し、底層(20m)近くで上昇。濁度は0.8~5.0FTU、底層で最大。溶存酸素は5.4~7.0mg/l、底層で最小。

10月10日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	22.1	33.3	0.8	6.5
5	22.1	33.4	1.0	6.5
10	21.9	33.3	1.5	6.8
15	21.8	33.3	0.9	7.0
20	22.2	33.6	5.0	5.4

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。